

2025年7月6日

第61回社会福祉セミナー「社会福祉の『支援』はどこに向かうか」

講座②

当事者発の支援論 ー「支援を受ける」経験からー

コーディネーター：堀田聡子（慶應義塾大学大学院教授）

当事者発の支援論－「支援を受ける」経験から－ 企画趣旨

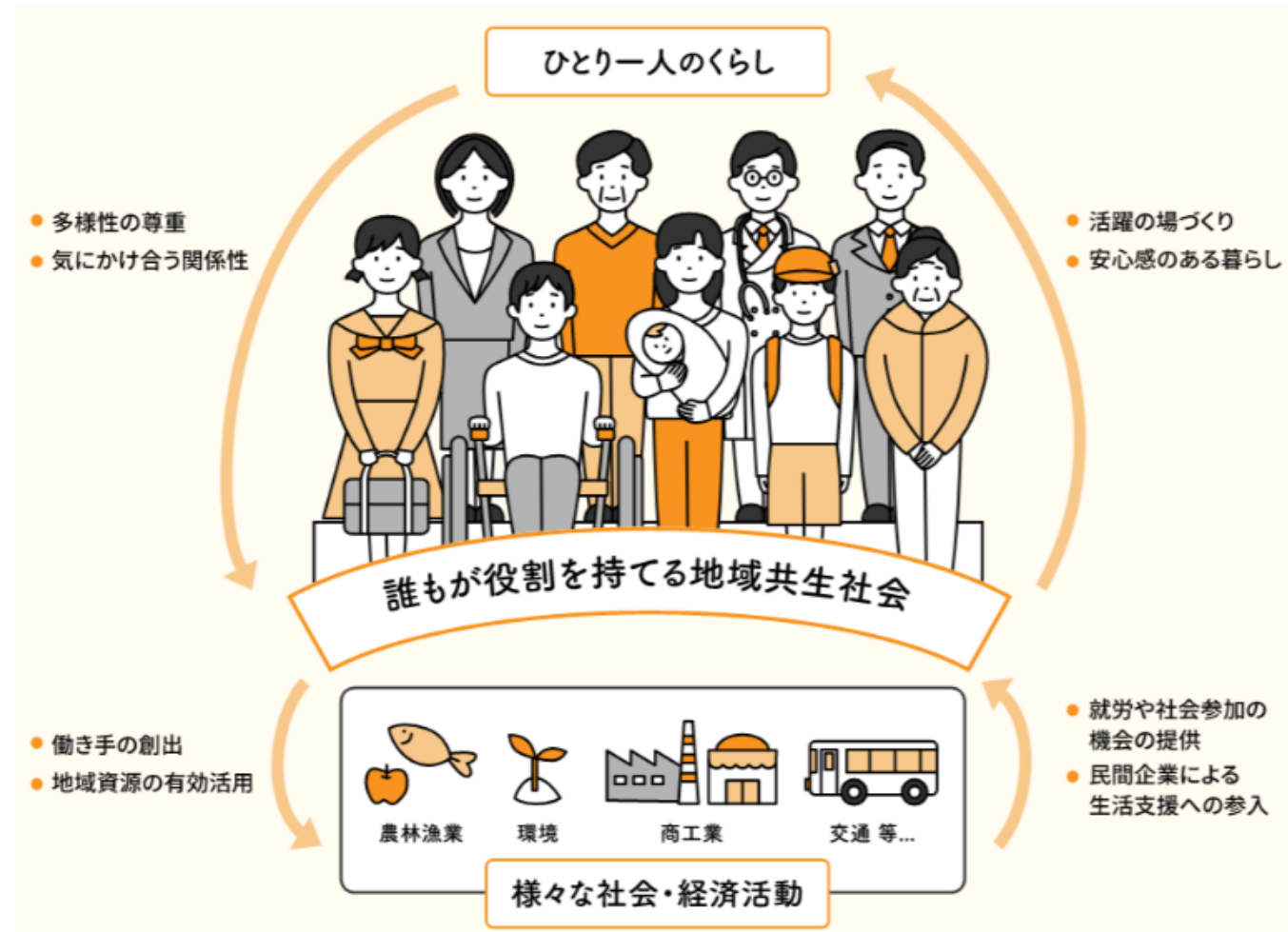
支援のあり方を考えるうえで、それを必要とする人々の視点からの議論を欠かすことはできない。

支援を必要とする人たちは、社会福祉における支援のあり方や、それをめぐる議論を、どのようにみているのか。

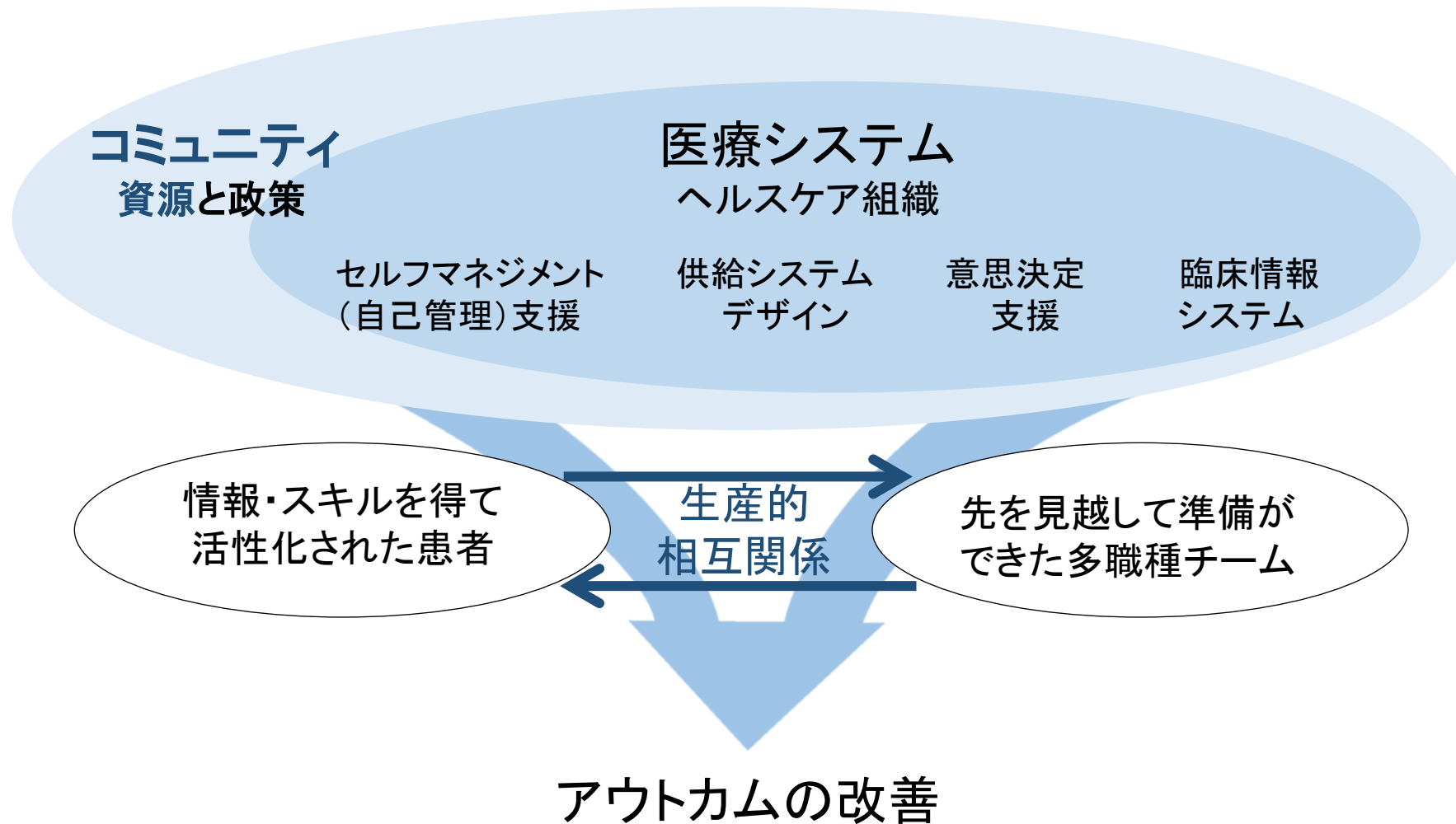
本講座では、「支援を受ける」経験をもつ人たちの語りをもとに、今後の支援の方向性について展望する。

地域共生社会とは

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



慢性疾患ケアモデル（Chronic Care Model）における 患者－専門職関係とコミュニティ資源



出所：Wagner et al. (1999、2001)

慢性疾患ケアのためのコアコンピタンス

1. 患者中心ケア

- 効果的なコミュニケーション
- 健康行動変容のサポート
- セルフマネジメント支援
- プロアクティブアプローチ

2. 協働（Partnering）

- 患者と
- 他の提供者と
- コミュニティと

3. 質向上

- プロセス・成果の測定
- 学習→変化
- エビデンスを実践に反映

4. ICT

- 患者の登録
- パートナーとのコミュニケーション
- コンピュータ技術の活用

5. 公衆衛生視点

- Population-based care
- 予防重視とケアの連続を横断する働き
- プライマリ・ケア主導のシステム

出所：WHO（2005）、Nolte and McKee（2008）

健康の新しい概念－ポジティブヘルス

「社会的・身体的・感情的問題に直面したときに適応し、
本人主導で管理する能力としての健康」

- 身体の状態：元気、体調、症状・痛み、睡眠、食事、コンディション、動き
- 心の状態：記憶力、集中力、意思疎通力、朗らか、自己受容、変化への対応力、管理感
- 生きがい：生きがいのある生活、生きる意欲、理想を達成する意欲、信頼できる、受容力、感謝の心、生涯学習
- くらしの質：楽しめる、幸福感、しっくり感、バランス感、安心感、住まい、十分な生活費
- 社会とのつながり：他者との接触、尊重してもらえる、楽しみを共有できる仲間、他者からの支援、居場所がある、やりがいのある活動、社会に対する関心
- 日常の機能：身の回りのことができる、自分の限界を知る、健康についての知識、時間管理力、金銭管理能力、働ける、支援を求めることができる



私の ポジティブヘルス

- 身のまわりのことができる
- 自分の限界を承知している
- 健康についての知識がある
- 時間管理ができる
- 金銭管理ができる
- 働ける・活動できる
- 支援を求められる



DAILY
FUNCTIONING
日常機能

- 他者とのつながりがある
- 自分を尊重してもらえる
- 楽しみを共有できる仲間がいる
- 必要なとき支援してくれる人がある
- 居場所がある
- やりがいある活動・仕事がある
- 社会に対する関心がある



PARTICIPATION
社会とのつながり



QUALITY OF LIFE
くらしの質

- 生活を楽しめる
- 幸福なくらしだと思う
- しっくり感がある
- バランスのある生活だ
- 安心感がある
- 親密感がある
- 住まいと同居する人に満足している
- 十分な生活費がある

BODILY FUNCTIONS
身体の状態



- 健康だ
- 体調がよい
- 病状や痛みがない
- よく眠れる
- 食欲がある
- 性生活に満足している
- 身体のコンドিশョンがよい
- 動きがラク



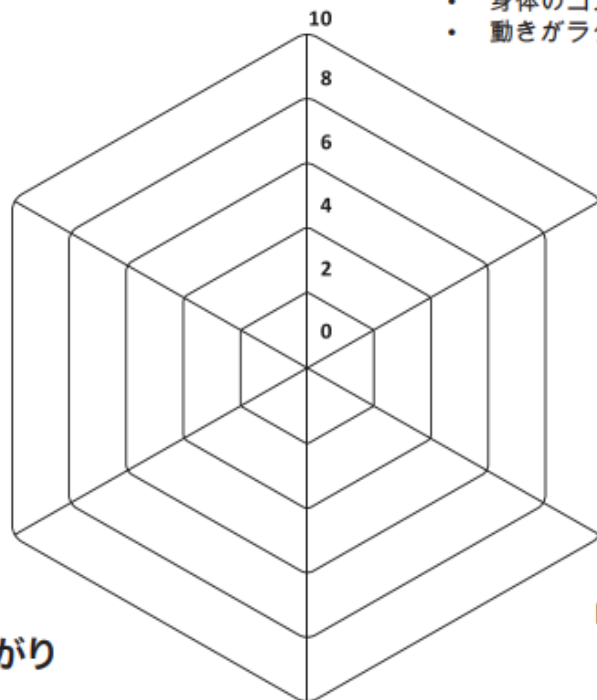
MENTAL
WELL-BEING
心の状態

- 記憶力がよい
- 集中力がある
- コミュニケーション力がある
- 朗らか
- 自分自身を受け入れられる
- 変化に対応できる
- ものごとが收拾できているという感覚がある



MEANINGFULNESS
いきがい

- 生活にいきがいがある
- 生きる意欲がある
- 達成したい理想がある
- 将来に希望をもてる
- 人生を受け入れられる
- 感謝の念がある
- 生涯学び続けたい



Something that is important to me is missing / 私にとって大切なことが欠けている。: _____

本講座の構成（敬称略）

パネリストによる講演

- 大胡田誠氏（おおごだ法律事務所代表弁護士）
- 坂本歩氏（NPO法人 里親ひろばほいっぷ理事）
- 和久井みちる氏（一般社団法人 社会的包摂サポートセンター相談支援コーディネーター）

～休憩～

パネルディスカッション

地域共生社会とは

共に生き、相互に支え合うことのできる地域（Care by Community：ケアリングコミュニティ）

- ①ケアの当事者性 ②地域自立生活支援 ③参加・協働
④共生社会のケア制度・政策 ⑤地域経営

（原田 2014）

